

カイトキをカタチに。

三機工業は、空気、水、電気、搬送など、
様々な社会インフラを支えています。

ビルや工場など建物の設備の設計・施工から
メンテナンス・運転管理・リニューアルまで、

設備のライフサイクル全体を

サポートすることで、

ずっとそっと世の中を快適にしています。



第二弾公開中!

全部やっています。



CM公開中!

詳細は当社HPを
ご覧ください。



三機工業 カイトキをカタチに 検索

 三機工業株式会社

株主通信

第2四半期決算のご報告

[2022年3月期]

2021年4月1日～2021年9月30日

証券コード: 1961

Engineering for the Future

 三機工業株式会社

〒104-8506 東京都中央区明石町8の1 聖路加タワー
TEL.03-6367-7041 FAX.03-3541-6676
<https://www.sanki.co.jp/>





代表取締役社長
石田 博一

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループへの厚いご支援を賜り、心より御礼申しあげます。2022年3月期第2四半期決算のご報告にあたり一言ご挨拶させていただきます。

当期は、3ヵ年中期経営計画「**“Century 2025” Phase2**」の最終年度となります。本計画は、当社グループがこれまで取り組んできたコア事業の強化と成長戦略の推進、三機ブランドの向上を継続しつつ、新たに「信頼」を高めることをテーマに掲げ、財務・資本政策、ESG方針の開示、情報発信力の強化により、ステークホルダーの皆さまとのより強固な関係づくりを目指すものです。

上半期の連結業績は、環境システム事業の増収等により、すべての利益項目で増益となりました。下半期は、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、生産性および施工品質の向上を図るとともに、コーポレート・ガバナンスを一層強化し、中期経営計画の達成を目指してまいります。

今後とも当社グループ事業へのご理解とともに、長期のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2021年12月

上半期のご報告と通期の見通し

当上半期の業績は、受注高が前年同期比で67億円減少し965億円となる一方、売上高は808億円から840億円に増加しました。

利益面では、売上総利益は増収により増益となりました。さらに、販管費の節減などにより、営業利益と経常利益が前年同期から改善、親会社株主に帰属する四半期純利益も増加し、すべての利益項目で増益となりました。

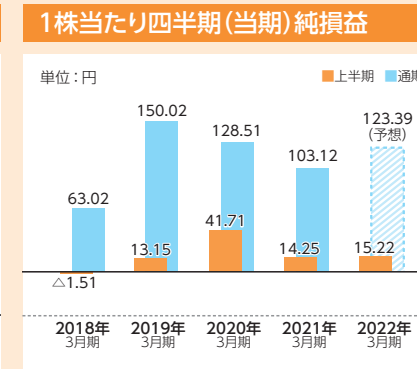
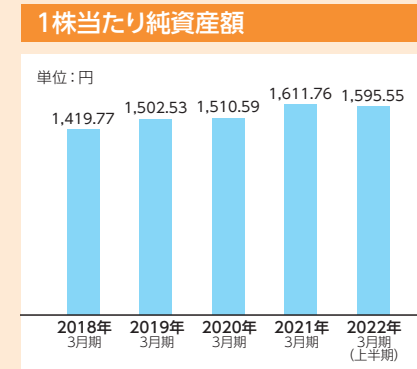
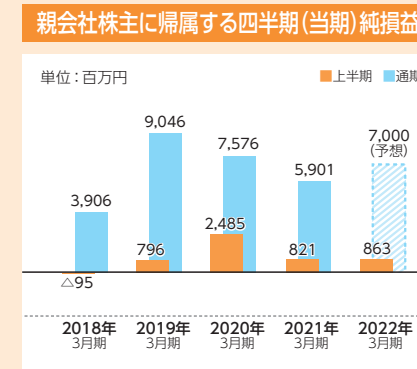
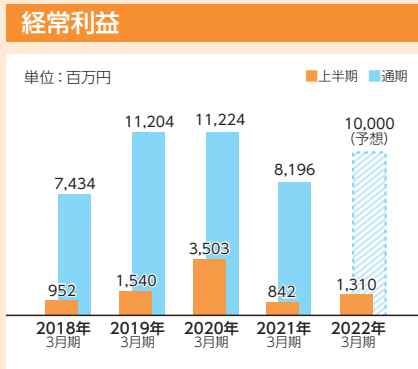
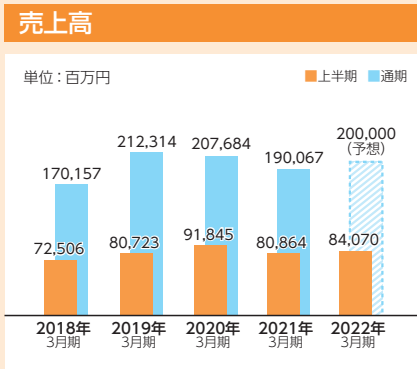
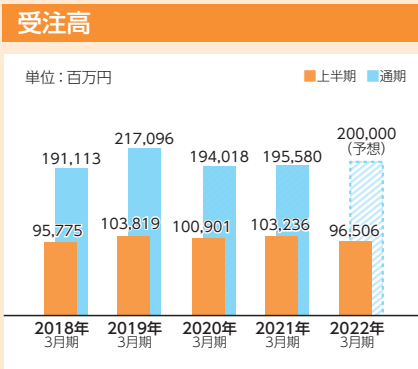
営業状況を事業別に振り返りますと、建築設備事業は、電気の受注高は増加したものの、ビル空調衛生と産業空調が前年同期に大型案件を獲得した反動で全体の受注高が減少しました。売上高は前年同期と同水準を維持しました。機械システム事業および環境システム事業は、いずれも受注高・売上高が増加し、特に

環境システム事業は、大型案件の獲得と繰越工事の進捗により大きく伸長しました。

当上半期末の繰越受注高は、当期首から124億円増加し、1,541億円と引き続き高い水準を維持しています。

通期業績については、期初の予想数値を変更せず、受注高2,000億円(前期比2.3%増)、売上高2,000億円(同5.2%増)、営業利益95億円(同26.7%増)、経常利益100億円(同22.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益70億円(同18.6%増)を見込んでいます。

中間配当は、期初の予定通り1株当たり35円とさせていただきます。期末配当についても同額の実施を予定しており、年間配当額は合わせて同70円となる見通しです。



事業を通じた脱炭素社会貢献への取り組み

当社は、経営理念「エンジニアリングをつうじて快適環境を創造し広く社会の発展に貢献する」に基づき、建築設備・機械システム・環境システムにカテゴライズされた幅広い領域における事業活動を通じて、脱炭素社会構築に向けた貢献を目指しています。

取り組み事例

1

NKCながいグリーンパワー 木質バイオマスガス化発電施設

2017年7月に営業運転を開始した「NKCながいグリーンパワー 木質バイオマスガス化発電施設」は、木質バイオマス資源が豊富な山形県内にて、その有効活用を通じた地球温暖化防止策として立ち上げられたプロジェクトです。

木材のエネルギー利用は大気中のCO₂濃度に影響を与えないカーボンニュートラルな特性を有しており、化石燃料の代わりに間伐材などを使用することで、CO₂排出量の抑制につながります。当社はガス化設備・タール燃焼装置などのプラント設備、および空調・衛生・電気設備などの建築設備を担当しました。発電施設は、含水率45%程度に自然乾燥した丸太をチップ化し、これを加熱、ガス化し、精製後にガスエンジンに送り発電する仕組みです。地域資源である間伐材を中心とした未利用材の使用により近隣林業界の活性化、施設関連の雇用創出、電力会社への売電等により、年間約8億円の経済効果を生み出しています。



2020年度実績

発電量	CO ₂ 削減効果
13,000 MWh/年	5,785 t-CO ₂ /年

取り組み事例

2

三重大学上浜キャンパス ESCO事業

当社は、「世界に誇れる環境先進大学」の実現を目指す三重大学のESCO事業^{*1}に参画しています。今回のESCO事業では、上浜キャンパス全体で6.83%というエネルギー削減目標に対し、2019年度にキャンパス内において特にエネルギー消費が大きい三重大学病院を中心に省エネルギー設備を導入しました。また、当社独自の制御技術「EcoSearcher[®]」^{**2}を導入し、熱源システムの最適運転を行っています。「EcoSearcher[®]」は、最適な制御パラメータをコンピュータが探索し、リアルタイムにエネルギー消費の最小化を図ります。省エネルギー効果のうち「EcoSearcher[®]」を含めた熱源システムの効果は約50%を占めています。

*1 省エネルギー改修にかかる費用を光熱水費の削減分で賄う事業
*2 熱源システム全体のエネルギー消費量の最小化を目的とした制御システム



2020年度実績

CO₂削減効果 **1,871** t-CO₂/年

PICK UP

SANKI YOUエコ貢献ポイント制度

お客さまへの省エネルギー提案が採用された場合、CO₂削減量をエコ貢献ポイント（1トン当たり100円）に換算し、環境保全活動に寄付するという独自の取り組みです。

今後も本制度を通じてCO₂削減を推進し、2050年のカーボンニュートラル実現の一助となることを目指します。



10年間の累計CO₂削減量の実績
(2010年10月～2021年3月)

231,462 t-CO₂



詳細は当社ホームページをご覧ください

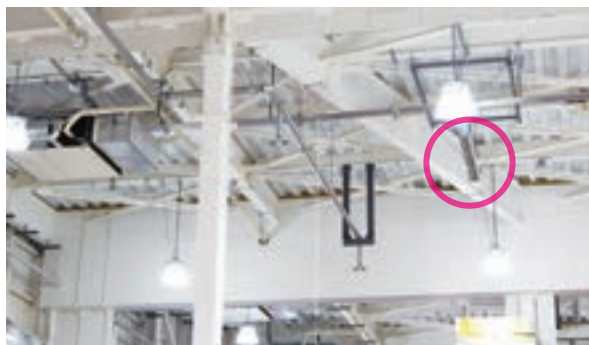
大規模倉庫型小売店が求める施工品質を提供

■ コストコホールセール石狩倉庫店

食品や日用品、電化製品など幅広い商品を取りそろえる倉庫型小売店を運営するコストコホールセールジャパン株式会社は、北海道で2倉庫店目の石狩倉庫店を2021年4月にオープンしました。当社は、道内初出店の札幌倉庫店に続き、今回も空調・衛生設備の施工を担当しました。

同社倉庫店の売り場は、商品を積み上げた高さを床上下6.8mと想定しており、空調機器やダクト類はこの高さ以上に設置する必要があります。そのため今回の施工では、冷暖房設備としてビル用マルチエアコン（横吹出し）を外壁に沿う形で天井近くに吊り下げ、空調空気を売り場中央に向けてリレー式に流動させる攪拌ファンを導入。中央のルーフトップ空調機から温度調整された外気を床面に向けて吹出すことで、大空間をムラなく空調する仕組みにしました。

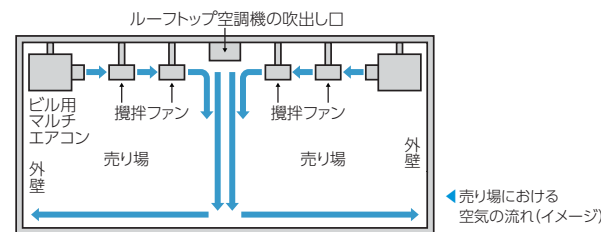
冬期に冷たい外気が入り込むエリアには、局所暖房として電気・ガス遠赤外線ヒーターを設置し、店舗出入口に外気を遮断するエアカーテンを導入。衛生設備においても、凍結防止として給水管にテープヒーターを巻くなど、寒冷対策の徹底を図っています。



▲空調空気を、売り場中央に向け流動する攪拌ファン

仕上げの美しさも追求する同社の倉庫店では、コンクリート床には特殊材料を採用し凹凸がなく光沢感に優れた仕上がりになっています。当社も設備施工時には、土間配管の収納や立ち上げ位置の精度に最大限の注意を払い、他の工程においても、床面の傷や汚れの防止を徹底しました。

当社は、お客さまのご要望を的確に実現し、利用者が安心して快適に過ごせる環境を構築してまいります。



施工担当者の声



北海道支店 建築設備技術部
渡辺 裕樹

今回の施工ではピット*がなく、地中に埋設する土間配管をおこないました。そのため、砕石を敷きこんだりコンクリートを打設するたびに、配管がずれてしまう可能性があります。土間配管は一度埋設するとやり直すことができないため、土木作業がおこなわれるときは随時、350カ所ほどある配管の立ち上がり部分がずれていないか、スタッフ総出で何回も確認するなど、品質管理を徹底しました。これからも、正確性の高い、きめ細かな施工をおこなってまいります。

*配管などを通すため床下に設けた空間

VOICE

河川の水質を浄化し、地域の生活環境を改善

■ 呑川高濃度酸素水浄化施設

世田谷・目黒・大田区の3区にまたがる呑川は、下水処理場で高度処理した再生水を主な水源としていますが、雨天時に合流式下水道の越流水や路上の汚れが流れ込み、また河口近くの下流部は、潮汐の影響を受けて下層が貧酸素状態になります。これらが悪臭発生の一因となり、周辺環境の悪化を招いてきたことから、大田区は2021年3月、呑川高濃度酸素水浄化施設を川の流れる最下流に新設しました。

当社は、本工事においてプラント機械・電気設備の施工を担当しました。メインの水処理設備には、酸素発生装置、酸素溶解装置、消泡装置を取り付け、それらをコントロールする制御盤を導入。これらの装置で生成した高濃度酸素水を放流することで、嫌気性微生物の活性を弱め、環境改善を図る仕組みです。原水の汲み上げは、同施設の約300m下流に取り付けた取水ポンプを制御盤から操作して行います。原水を貯留する原水槽には、散気装置と小型脱臭装置を設け、そこから水処理設備へ移送する原水ポンプと



▲水処理設備

配管を設置しました。

制御装置に関しては、稼働後の運用方法をお客さまと十分に協議し、機器の操作や運転状況の管理を確実にかつ安定的に遠隔で実施できるシステムを構築しました。

本工事は「令和3年度大田区建築土木関係優良工事」に選定されました。当社は、今後も日常生活の周辺環境を改善し、地域に貢献する施工を手掛けてまいります。



▲施設から300mほど下流にある取水設備

施工担当者の声



環境システム事業部 技術1部
花岡 宏 (左)
環境システム事業部 営業2部
檜垣 潤 (右)

VOICE

今回の施工は、河川と鉄道に挟まれた敷地、既存建屋・設備との取り合いなど、施工条件に制限のある工事でした。限られた空間の中で、どのように機器と配管の設置をしていけば効率よく進められるのかについて、設計段階から注力しました。施工時においても、機器の据付工事や配管工事など、4工種を同時に進行しながら、各工事内容を事細かにすり合わせ、安全に気持ちよく作業できるよう、コミュニケーションを積極的にとりながら進めていきました。これからも、お客さまから安心して任せていただけることはもちろん、現場の雰囲気も大切にしながら、協力会社の方が作業しやすい環境づくりをおこなってまいります。

次世代電池評価向け環境試験設備を開発



広範囲な温度条件を、高精度かつ省エネルギーに実現

当社は、電気自動車やモバイル機器の普及にとまなない、安全性や高エネルギー密度化など性能の大幅向上が期待され技術開発が進む“次世代電池”の評価向け環境試験設備を開発し、当社のR&Dセンター（神奈川県大和市）に実装しました。

背景

車両や電子部品などの評価試験が行われる環境試験設備には、広範囲の温度条件の設定が可能であることに加え、それぞれの温度帯で高精度な制御性が求められます。自動車の電動化や自動運転装置の普及、通信分野におけるモバイル機器の高性能化が加速するにつれ、このような環境試験設備は今後、需要の増加が見込まれています。特に車載用電池の評価試験においては、**-40~+100℃**という非常に広範囲な温度条件が必要とされています。

従来システム

広範囲な温度条件で室内の発熱負荷が変動する場合、温度制御が不安定になることがあるため、求められる温度条件を満たすためには、冷却装置で室内温度より低い温度まで下げ、その後、制御の容易な電気ヒーター等で再加熱制御を行っていました。

新システムの特長

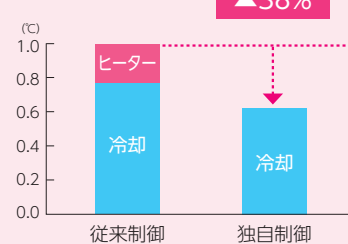
本開発では高温冷媒（ホットガス）と、フィードフォワードの概念を取り入れた独自のロジック（特許出願中）で制御を行うことで、直膨コイルによる冷却方式でも再加熱用のヒーターをいわずに、最高精度±0.3℃（負荷一定時）の温度制御と約40%の省エネルギーを実現しました。

- 1 当社独自の制御ロジックを用いた高精度な温度制御を実現
- 2 ヒーターレスによる省エネルギー型システムの構築

環境試験設備



消費エネルギー試算



連結貸借対照表の概要

単位：百万円

科目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
流動資産	116,054	107,859
固定資産	55,258	56,258
資産合計	171,313	164,118
流動負債	67,882	61,312
固定負債	11,731	12,004
負債合計	79,614	73,317
純資産合計	91,699	90,800
負債純資産合計	171,313	164,118

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

科目	前第2四半期（累計） (2020年4月1日から2020年9月30日まで)	当第2四半期（累計） (2021年4月1日から2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,258	1,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△897	△1,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,390	△3,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,378	33,742

株式の状況 (2021年9月30日現在)

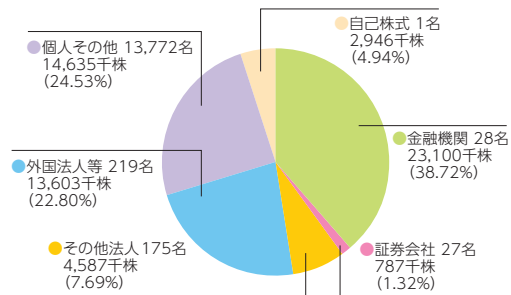
発行可能株式総数	192,945,000株
発行済株式総数	59,661,156株
株主数	14,222名

大株主 (2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,839	12.06
明治安田生命保険相互会社	5,570	9.82
大樹生命保険株式会社	3,134	5.53
三機共栄会	2,908	5.13
日本生命保険相互会社	2,324	4.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,068	3.65
三機工業従業員持株会	1,396	2.46
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505001	945	1.67
エムエスアイピークライアントセキュリティーズ	868	1.53
デイエフエイインターナショナルスモールキャップバリューポートフォリオ	794	1.40

(注) 当社は自己株式2,946千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を除いて計算しております。

所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めております。

公告掲載方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。(当社ホームページ <https://www.sanki.co.jp/>に掲載します。)

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)で行っております。

中間配当金のお支払いについて 第98期中間配当金は、「中間配当金領収証」により、払渡し期間内(2021年12月10日から2022年1月11日まで)にお受け取りください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について 「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要

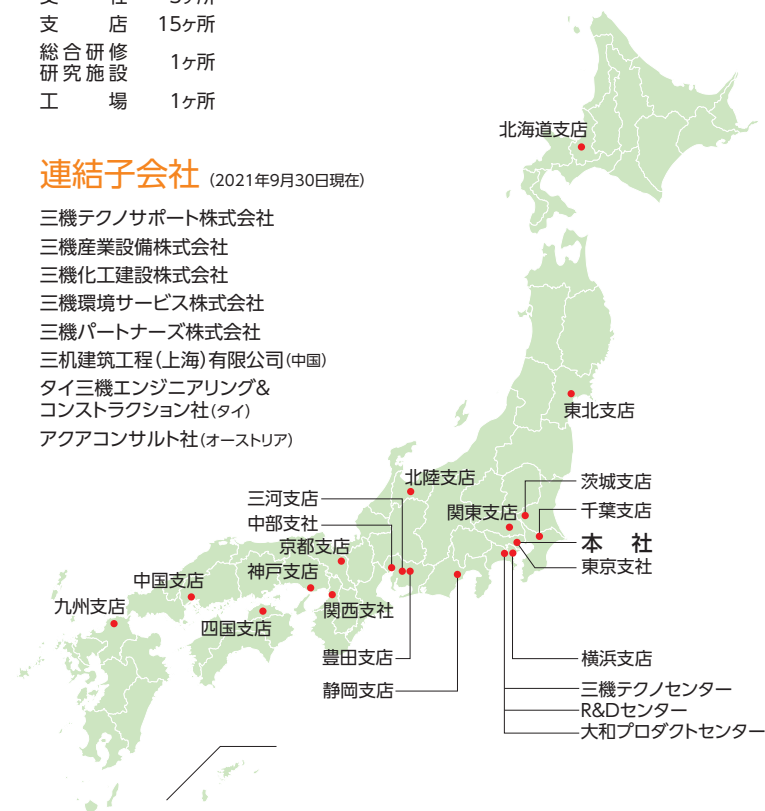
会社名 三機工業株式会社
英文社名 SANKI ENGINEERING CO. LTD
創立 1925年4月22日
資本金 81億518万円 (2021年9月30日現在)
事業内容 建築設備事業、プラント設備事業、不動産事業
従業員数 連結 2,640名 個別 2,121名 (2021年9月30日現在)

事業所一覧 (2021年9月30日現在)

支社 3ヶ所
支店 15ヶ所
総合研修研究施設 1ヶ所
工場 1ヶ所

連結子会社 (2021年9月30日現在)

三機テクノサポート株式会社
三機産業設備株式会社
三機化工建設株式会社
三機環境サービス株式会社
三機パートナーズ株式会社
三机建筑工程(上海)有限公司(中国)
タイ三機エンジニアリング&コンストラクション社(タイ)
アクアコンサルト社(オーストリア)



役員 (2021年9月30日現在)

○取締役および監査役

代表取締役会長 長谷川 勉
代表取締役社長 石田 博一
取締役 三石 栄司
工藤 正之
飯嶋 和明
福井 博俊
川辺 善生
山本 幸央
柏倉 和彦
河野 圭志
松田 明彦
人見 一男
齊藤 昇三
跡見 裕
江頭 敏明

○執行役員

専務執行役員 三石 栄司
工藤 正之
白木 博之
杉浦 繁
國廣 正年
朝倉 和昭
福田 順一
飯嶋 和明
富田 弘明
福井 博俊
矢野 憲一
川辺 善生
泉 和男
穴口 常明
苅部 郁生
太田 伸祐
山中 庸詳
門脇 公夫
鹿田 晃彦
成瀬 安計
勝野 耕治
本川 忠行
青木 伸一
中村 諭史
野口 哲
岩崎 恭士
波多野 宏行
新保 順一
浅沼 辰夫
岩井 良博
寺崎 毅史
砂田 直人
山崎 泰弘
奥野 竜久
浜坂 順一
梅沢 昭仁
中川 勇人

○常務執行役員

常勤監査役

監査役